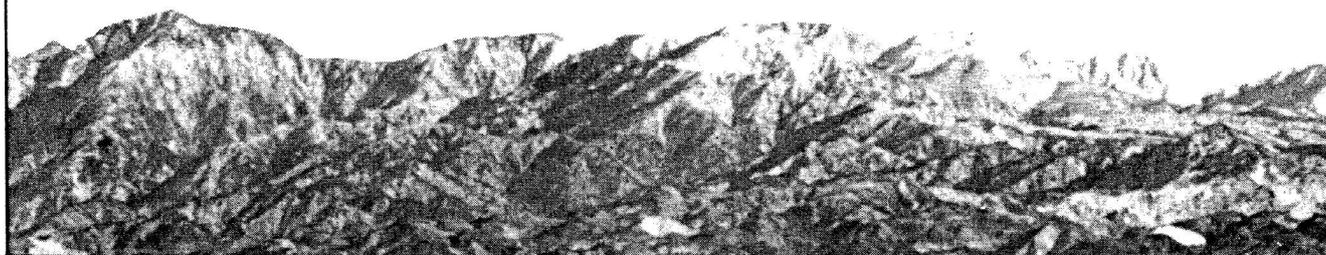


富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第314号

目 次

| | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 関係法令.....2 | 学内諸報.....10 |
| 学内規則.....3 | 平成2年富山大学職員成人式の実施.....10 |
| 富山大学文書決裁規則の一部改正.....3 | 北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会の開催.....10 |
| 富山大学附属図書館文献複写規則の一部改正.....3 | 消火訓練の実施.....10 |
| 諸会議.....3 | 学術講演会の開催(理学部).....11 |
| 人事異動.....5 | 経営短期大学部部長の改選.....11 |
| 学 事.....6 | 海外渡航者.....12 |
| 平成2年度富山大学学生募集要項(追加)の 発表.....6 | 職員消息.....13 |
| | 主要行事.....13 |

関係法令

法 律

- 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律(73) 12・13
- 教育職員免許法の一部を改正する法律(89) 12・22
- 国家公務員等共済組合法等の一部を改正する法律(93) 12・27

政 令

- 旅券法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令(314) 12・8
- 国家公務員等共済組合法施行令等の一部を改正する政令(345) 12・27

省 令

- 旅券法施行規則の一部を改正する省令(外務10) 12・1
- 旅券法施行規則の全部を改正する省令(外務11) 12・8
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令(文部46) 12・25
- 国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令(大蔵77) 12・27

規 則

- 人事院規則1-4(現行の法律、命令及び規則の廃止)の一部を改正する人事院規則(人事院1-4-8) 12・13
- 人事院規則9-6(俸給の調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-6-14) 12・13
- 人事院規則9-8(初任給、昇格、昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-11) 12・13

- 人事院規則9-24(通勤手当)の一部を改正する人事院規則(同9-24-4) 12・13
- 人事院規則9-34(初任給調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-34-5) 12・13
- 人事院規則9-40(期末手当及び勤勉手当)の一部を改正する人事院規則(同9-40-7) 12・13
- 人事院規則9-49(調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-49-5) 12・13
- 人事院規則9-57(教職調整額の支給方法等)の一部を改正する人事院規則(同9-57-5) 12・13
- 最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え(同9-88) 12・13

告 示

- 行政機関の保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、行政機関が平成元年10月1日現在で保有している個人情報ファイルを告示(総務庁78) 12・12
- 平成2年4月1日から平成5年3月31日までの間における盲学校、聾学校及び養護学校小学部・中学部学習指導要領の特例を定める件(文部171) 12・25
- 現行の盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領の特例を定める件(同172) 12・25

学 内 規 則

富山大学文書決裁規則の一部改正

富山大学文書決裁規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成元年12月1日

富山大学長 大井 信一

富山大学文書決裁規則の一部を改正する規則

富山大学文書決裁規則（昭和48年12月21日制定）の一部を次のように改正する。

別表第2（学部、教養部、附属図書館関係）の項中第21号の次に次の1号を加える。

| | | |
|-----------------|----|-------|
| 22 文献複写料金徴収猶予許可 | 学長 | 附属図書館 |
| | 長 | |

附 則

この規則は、平成元年12月1日から施行する。

▶ 富山大学文書決裁規則の改正理由

「国立大学附属図書館における文献複写料金徴収猶予取扱要領について」（平成元年5月24日付け文学情第145号、文部事務次官通知）に基づき、公私立大学等の図書館から文献複写を受託した場合の料金について、徴収猶予の取扱いをすることができることとするため、所要事項を改める。

富山大学附属図書館文献複写規則の一部改正

富山大学附属図書館文献複写規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成元年12月1日

富山大学長 大井 信一

富山大学附属図書館文献複写規則の一部を改正する規則

富山大学附属図書館文献複写規則（昭和42年8月17日制定）の一部を次のように改正する。

第4条第1項を次のように改める。

前条の承認を得た者は、文献複写料金を前納しなければならない。ただし、別に定める富山大学附属図書館文献複写料金徴収猶予実施細則の規定に基づき徴収猶予の許可を得ている場合は、この限りでない。

附 則

この規則は、平成元年12月1日から施行する。

▶ 富山大学附属図書館文献複写規則の改正理由

「国立大学附属図書館における文献複写料金徴収猶予取扱要領について」（平成元年5月24日付け文学情第145号、文部事務次官通知）に基づき、公私立大学等の図書館から文献複写を受託した場合の料金について、徴収猶予の取扱いをすることができることとするため、所要事項を改正する。

諸 会 議

第3回黒田講堂管理運営検討委員会（12月1日）

（議 題）

- (1) 黒田講堂管理運営について
- (2) その他

第73回構内交通対策委員会（12月1日）

（議 題）

- (1) 富山大学五福構内の交通対策について

第9回入学試験管理委員会・第8回入学者選抜方法研究委員会の合同委員会（12月5日）

(審議事項)

- (1) 入学者選抜方法の改善に伴う平成元年度以降の調査研究事項について
- (2) 平成2年度富山大学学生募集要項(追加)(案)について
- (3) 平成2年度入学試験における2段階選抜の実施方法について

第6回補導協議会(12月8日)**(審議事項)**

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第11回評議会(12月15日)**(審議事項)**

- (1) 平成2年度富山大学入学者選抜試験推薦入学、帰国子女及び社会人特別選抜合格者の判定について
- (2) 平成2年度大学入試センター試験富山大学試験場試験実施要項について
- (3) 平成2年度富山大学学生募集要項(追加)について

- (4) その他

第5回事務協議会(12月18日)**(議 題)**

- (1) 当面する諸問題について

第4回黒田講堂管理運営検討委員会(12月18日)**(議 題)**

- (1) 黒田講堂管理運営について
- (2) その他

第74回構内交通対策委員会(12月22日)**(議 題)**

- (1) 富山大学五福構内の交通対策について
- (2) 平成2年度入構監視業務について
- (3) 歩道の確保について

第12回評議会(臨時)(12月27日)**(議 題)**

- (1) 当面する諸問題について

本格的冬将軍の到来で五福地区構内の交通規制に協力を!!

1月下旬に入り本格的な冬将軍の到来となりました。このため、冬期積雪時の五福地区構内の交通規制が次のとおり定められているので、お互いに十分注意し構内の交通規制を遵守しましょう。

1. 冬期積雪時、特に大雪注意報が発令されると予想される場合は、車両による通勤通学は取り止めるものとする。
2. 駐車禁止区域以外の通路の駐車は、除雪の支障にならないよう注意する。
3. 大雪及び除雪作業等で車両の入構を規制したり、禁止したりする場合は、掲示する。
4. 積雪時は、各部局前の外来者駐車帯に車両を駐車させることができる。
5. 夜間は、管理・研究・教育等に従事する者及び夜間主コース学生等以外は、構内に車両を駐車させることができない。また、降雪時においては、翌日にかけての駐車は原則として認めない。
6. 除雪の際、障害となる車両は移動させるが、その場合車両に損傷が生じても大学はその責任を負わない。また、車両の除去のために費用が必要となる場合の費用は、当該車両を所有する者の負担とする。

学 事

平成2年度富山大学学生募集要項（追加）の発表

本学は、平成2年1月10日(水)、平成2年度富山大学学生募集要項の追加要項を発表した。その概要は、次のとおりである。

〔追加要項の概要〕

本学において、学生募集を行っている学部・学科(課程)、募集人員は、既に発表した「平成2年度富山大学学生募集要項」のとおりであるが、このほか平成2年度から工学部では、学科の改組及び募集人員の変更を計画している。

この計画の実施については、関係法令の制定、予算の成立との関連から未定であるが、入学者の選抜については、下記のとおり実施する。

記

I. 工学部の学科改組

工学部では、既設の工業化学科、金属工学科、機械工学科、生産機械工学科及び化学工学科を改組・統合して「機械システム工学科、物質工学科及び化学生物工学科」を新設することを計画している。

なお、この学科の新設及び入学定員の変更は、関係法令の制定、予算の成立によってはじめて確定するものである。

学科の新設及び入学定員（30名の増員を含む。）

| 学部 | 既 設 の 学 科 | | ⇒ | 新 設 予 定 の 学 科 | |
|-------------|-----------|------|---|---------------|------|
| | 学 科 名 | 入学定員 | | 学 科 名 | 入学定員 |
| 工 学 部 | 工業化学科 | 50 | ⇒ | 機械システム工学科 | 101 |
| | 金属工学科 | 43 | | 物質工学科 | 83 |
| | 機械工学科 | 56 | | 化学生物工学科 | 86 |
| | 生産機械工学科 | 45 | | | |
| | 化学工学科 | 46 | | | |

- (注) 1. 既設の金属工学科(43名)と工業化学科(20名)、化学工学科(20名)を統合し、「物質工学科(83名)」を新設することを計画している。
2. 既設の機械工学科(56名)と生産機械工学科(45名)を統合し、「機械システム工学科(101名)」を新設することを計画している。
3. 既設の工業化学科(30名)、化学工学科(26名)を統合し、増員30名を含めて「化学生物工学科(86名)」を新設することを計画している。
4. したがって、既設の工業化学科及び化学工学科は、「物質工学科」及び「化学生物工学科」にそれぞれ分かれることになる。
5. 電子情報工学科は、変更しない。

II. 入学者選抜方法等

機械システム工学科，物質工学科及び化学生物工学科の新設及び募集人員の変更は，関係法令の制定，予算の成立によってはじめて確定するものであるが，この結果によって生ずる入学者選抜は改めて行わない。

したがって，機械システム工学科，物質工学科及び化学生物工学科の入学者選抜は，新設が確定するまで，既設の工業化学科，金属工学科，機械工学科，生産機械工学科及び化学工学科の入学者選抜として実施する。

(1) 既設の工業化学科及び化学工学科の募集人員は，次のとおり変更する。

ただし，変更後の募集人員には，既に発表済みの推薦入学の合格者（工業化学科2名，化学工学科1名）を含む。

| 学 部 | 学 科 | 変更前 | 変更後 |
|-----|-------|-----|-----|
| 工学部 | 工業化学科 | 50 | 68 |
| | 化学工学科 | 46 | 58 |

(注) 金属工学科，機械工学科，生産機械工学科及び電子情報工学科の募集人員は，既に発表した学生募集要項のとおりである。

(2) 入学願書は，既設の工業化学科，金属工学科，機械工学科，生産機械工学科，化学工学科を志願するものとして受け付けるが，改組が確定した場合は，機械システム工学科，物質工学科及び化学生物工学科を志願したものとして取り扱う。

(3) 既設の機械工学科，生産機械工学科志願者に限り，機械工学科（又は生産機械工学科）が第1志望の者は，生産機械工学科（又は機械工学科）を第2志望とすることを認める。

(4) 既設の工業化学科，化学工学科の志願者は，改組が確定した場合は，物質工学科又は化学生物工学科を志願した者として取り扱う。

なお，既設の他の学科を第2志望とすることは認めないが，新設学科についてのみ第2志望まで認める。

(5) 既設の金属工学科の志願者は，改組が確定した場合は，物質工学科を志願した者として取り扱う。

(6) この改組に伴い，電算処理原票に記入すべき学科コードは，次のとおり変更する。

| 変 更 前 | | | 変 更 後 | | |
|--------|--------------------|-----|--------------------|--------------------|---------|
| 学科・課程等 | 省略した 学科・ 課程等 | コード | 学科・課程等 | 省略した 学科・ 課程等 | コード |
| 工業化学科 | 工 化 | 5 2 | 工業化学科 (物質工学科) | 工 化 (物 質) | 5 2 0 1 |
| | | | 工業化学科 (化学生物工学科) | 工 化 (化 生) | 5 2 0 2 |
| 化学工学科 | 化 工 | 5 6 | 化学工学科 (物質工学科) | 化 工 (物 質) | 5 6 0 1 |
| | | | 化学工学科 (化学生物工学科) | 化 工 (化 生) | 5 6 0 2 |

(7) 合格者の発表は，既設の工業化学科，金属工学科，機械工学科，生産機械工学科，化学工学科の合格者として行い，改組が確定した場合に入学することとなる新設予定の機械システム工学科，物質工学科，化学生物工学科も併せて発表する。

(8) 万一関係法令の制定，予算の成立がない場合は，既設の工業化学科，金属工学科，機械工学科，生産機械工学科，化学工学科の学生として措置する。

- (9) 先に実施した推薦入学について、この改組に伴う募集人員の変更により合格者を増加する等の措置は行わない。
- (10) 入学者選抜に関するその他の事項については、既に発表した学生募集要項を参照すること。

〔工学部の新設予定学科の概要〕

I. 機械システム工学科

〈設置の趣旨〉

今日の産業界では、機械の高性能化、高精密化に加え、生産工程の効率的な稼動のためにそのプロセスの省力化と無人化のための総合システム化への移行を指向している。これらの動向に対処するために工業設計及び生産システムを含む機械系分野の基礎的学問を身につけるとともに計測や制御分野の高度な技術をも具備したエンジニアの育成が大きな社会的要請となってくる。

以上の基本的展望を踏まえて、従来の機械工学と生産機械工学の両学科の統合を図り、基礎的分野に加え、学際間の高度の生産システム技術をも備えた技術者の育成を図る。

〈教育研究分野〉

| 学科名 | 講 座 名 | 教 育 研 究 分 野 |
|---|-------------|--|
| 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 | 強 度 設 計 工 学 | 固体力学, 材料強度学, 設計システム |
| | 熱流体システム工学 | 熱工学, 流体工学, エネルギー変換 |
| | 生産システム工学 | 切削加工学, 塑性加工学, 精密加工学, 加工材料設計学, 計測工学, 精密システム設計 |
| | 制御システム工学 | 機器設計学, 生産技術システム, 機械システム制御, 油空圧工学 |

II. 物質工学科

〈設置の趣旨〉

材料利用の優劣あるいは新しい素材（材料）の開発は、まさにその国の文明ひいては国力を左右するものである。そして、今日の工業製品や構造体の基本的要素であり、また情報産業の発展向上を指向するハードウェアの根幹要素でもある。

これら重要な素材を大別してみると、無機材料、有機材料、金属材料に分けられ、それぞれの分野での高付加価値、高機能化あるいは新素材の開発が要求されていることは周知のことである。

このような社会の要望に対応して行くためには、従来の工業化学科、金属工学科、化学工学科と細分化され、各専門的知識並びに基盤となる技術を身につけたのみでは社会のニーズに応えることができない。

そこで、工業化学科、金属工学化、化学工学科の各分野が、それぞれ独立した学科を構成するのではなく、これらの知識、技術を有機的に連合して教育、研究を学際領域にまで拡充した大学科が必要になる。

物質工学科は、このような時代のニーズに対応するために設置するものである。

本学科では、物質科学の発展動向を展望し、既設学科の学問分野はもとより学際的な学問分野を包含し、新素材の設計、物性並びに製造などの基礎知識と応用及びその技術等を総合的に学習し、更に製品の工業化も追究できる思考能力を身につけるべく教育と研究を行う。

卒業後は、従来の化学工業関連産業、金属工業関連産業はもとよりのこと、これからの日本経済を担う自動車産業、電子情報産業、超電導産業、宇宙、海洋、原子力産業等々、全ての産業における材料を供給でき得る技術者として活躍が期待される。

〈教育研究分野〉

| 学科名 | 講 座 名 | 教 育 研 究 分 野 |
|-------|---------|---|
| 物質工学科 | 物質化学工学 | 応用無機化学, 電気化学, 有機合成化学, 応用有機化学, 材料製錬工学, 材料化学, 物質構造化学 |
| | 機能性材料工学 | 機能性材料, 材料評価学, 材料精製工学, 粉体材料物性, 粒子設計工学 |
| | 材料設計工学 | 材料物性工学, 組織制御工学, 材料設計工学, 複合材料工学, 電磁気材料工学, 熱移動論, 材料製造解析 |

III. 化学生物工学科

〈設置の趣旨〉

近年, 細胞融合, 遺伝子組換えなどを基礎とする新しいバイオテクノロジーが注目を集めており, 近い将来, 先端技術の中核になると考えられている。21世紀にはこれらバイオ技術により生み出される生理活性物質, より機能性の高い有用物質などの活用により, 豊かな, より充実した環境が期待される。一方, それにともなって, 将来バイオ関連技術者の不足が懸念され, その対策がせまられている。本学科はこのような社会情勢のニーズに対応するため工学部に新しく設置されたバイオ関係の学科である。従来の生物学及び生化学は, 生体の構造と機能並びに反応などに主体がおかれ, 生産技術に直接結びついていないきらいがあった。本学科は, 現在までに蓄積され, また今後もますます進展して行く高度な化学技術を基盤とし, これらをバイオ技術に活用融合させて行く方針で教育と研究を行い, バイオ産業の第一線で活躍できる人材の養成を目的としている。それに対応しうる講座として, 生物反応化学, 生物プロセス工学, 生体分子化学, 細胞工学の講座を設置している。

〈教育研究分野〉

| 学科名 | 講 座 名 | 教 育 研 究 分 野 |
|---------|----------|--|
| 化学生物工学科 | 生物反応化学 | 生物有機化学, 微生物学, 資源化学, 生体反応化学, 生物物理化学 |
| | 生物プロセス工学 | 反応工学, バイオリアクター, 分離プロセス工学, 精製装置工学, 食品工学 |
| | 生体分子化学 | 機能分子化学, 生物機能応用化学, 酵素化学, 生体高分子化学, 錯体生物化学 |
| | 細胞工学 | 細胞融合学, バイオ情報工学, バイオ素子反応工学, 発生分子工学, 遺伝子工学 |



 学 内 諸 報

平成2年富山大学職員成人式の実施

平成2年富山大学職員成人式が、去る1月10日(水)学長室において行われた。

式では、学長から記念品として、「人は見目よくだ心」の色紙(大井信一学長揮毫)に額を添えて新成人一人一人に授与され、引き続き、学長から、お祝いの言葉が述べられた。

これに対して、新成人を代表して、附属図書館の土屋仁美さんから「今日より成人として社会的責任を自覚し、自己の人格形成に努力するとともに社会の発展に寄与したい。」旨のあいさつがあった。

閉式後、学長室で新成人を囲み懇談会が催され、和やかな雰囲気うちに終了しました。

新成人は次のとおりです。

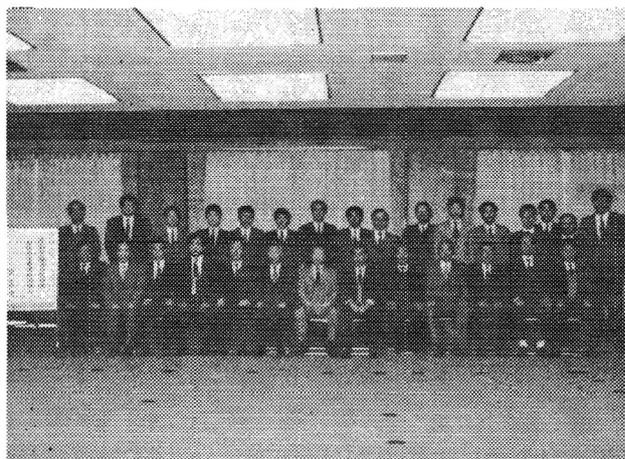
| | |
|--------|-------|
| 経理部経理課 | 川上真由美 |
| 工 学 部 | 東 三千代 |
| 附属図書館 | 土屋 仁美 |



新成人を囲んで記念撮影

北陸地区施設担当者連絡協議会を本学で開催

去る12月8日(金)本学が当番校となり、第16回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会が本学事務局大会議室で開催された。当日は、北陸地区国立学校施設担当職員28名が出席し、当面する施設事務の諸問題について、全体会議及び分科会を通して熱心に意見交換・協議された。



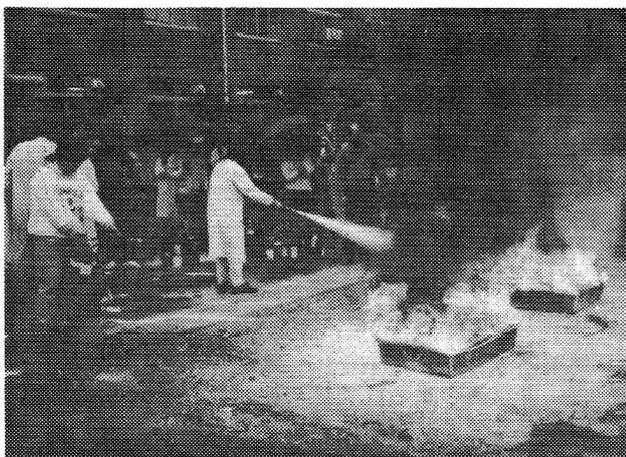
会議終了後記念撮影

消火訓練の実施

富山大学人文学部、理学部、教養部及びトリチウム科学センター防火管理規則及び同内規により、平成元年9月12日(火)に行われた定期査察に続いて、去る12月6日(水)午後人文学部、理学部で、理学部1号館裏の空

地において、学生、教職員約40名参加のもとで、火災が発生したとの想定のもとに、消火器操作による初期消火訓練、屋外消火栓ホースで行う本格的な放水による消火訓練を行い、初期消火の対応と消火用設備につ

いての知識、防火に対する意識の高揚を図った。特に、参加した学生の中には、消火器を実際に使用した者が少なく、手順を間違えたりした者もいたが、一応、当



初計画どおり行われ、互いに防火に対する心がまえを自覚し、有意義な訓練となった。



学術講演会の開催（理学部）

ユタ大学工学部土木工学教室のR.A.デッカー助教授が本学理学部雪水学講座を訪問されたのを機会に、去る12月6日(水)、同博士による「北米における雪研究の話題」の講演会が教養部地学ゼミナール室において開催された。講演は積雪の基礎的性質、スキー場の雪崩対策、バックカントリースキーに関するもので、18名の教官・学生が出席された。積雪の表面に発生した大きな霜が雪崩の引き金になること、雪崩危険地の火薬による処理、ヘリコプターで雄大な山奥に入り長大路離を滑るスキーなどに大きな感銘を受けた。

また、日立製作所半導体設計開発センターの吉中明博士が本学理学部結晶物理学研究室を訪問されたのを機会に、去る12月6日(水)、同博士による「最近の

シリコンデバイスの格子欠陥」と題する講演会が理学部2号館第6講義室において開催された。

シリコンデバイスの中で代表的なメモリについて、その性能の歴史的推移と将来の予測、デバイス生産量について世界における日本の比重の推移、特に、現在ではアメリカ及び全ヨーロッパを凌駕した話題から出発して、これらのシリコンデバイスにおける格子欠陥研究の重要性とその物理的意味が紹介された。シリコン結晶中に、どのような過程で、どのような種類の格子欠陥が導入されるか、また、これらを制御する方法に関しての現在の研究状況について、興味深い話題が提供された。活発な質疑応答があり、有意義な講演会であった。

経営短期大学部部長の改選

武 暢夫経営短期大学部部長の任期が、平成元年12月31日で満了することに伴い、経営短期大学部教授会は、平成元年11月21日次期部長候補者の選挙を行った。その結果、武 暢夫経済学部教授が再選出された。任期は、平成2年1月1日から平成3年3月31日まで。

武教授は、昭和33年3月京都大学大学院経済学研究科博士課程を単位修得後、同34年1月富山大学経済学部助手、同35年6月同講師、同37年2月同助教授、同53年2月同教授となり、この間、富山大学経済学部長及び同評議員を併任され、今日に至っている。

専門は西洋経済史、経済学修士、兵庫県出身



海外渡航者

| 渡航の種類 | 所属 | 職 | 氏名 | 渡航先国 | 目的 | 期間 |
|--------|------|------------|-------|----------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 外国出張 | 人文学部 | 助教授 | 小川 洋通 | アメリカ合衆国 | 現代英語の記述的研究に関する調査及び資料収集 | 元. 12. 11 } 元. 12. 24 |
| | 理学部 | 教授 評議員 | 後藤 克己 | アメリカ合衆国 カナダ | 1989環太平洋国際会議に出席及び研究連絡 | 元. 12. 16 } 2. 1. 1 |
| | " | 助手 | 大石 雅寿 | アメリカ合衆国 | 銀河の星形成領域の観測及びサブミリ波星間分子探査の研究並びに研究打合せ | 元. 12. 18 } 元. 12. 24 |
| | 工学部 | 助教授 | 黒田 重靖 | アメリカ合衆国 | 1989環太平洋国際化学会議に出席 | 元. 12. 17 } 元. 12. 23 |
| 海外研修旅行 | 理学部 | 理学部長 教授 | 小黒 千足 | 香港 タイ王国 | ホルモンと環境に関する国際シンポジウムに出席及び研究打合せ | 元. 12. 17 } 元. 12. 24 |
| | " | 教授 | 川瀬 義之 | アメリカ合衆国 | 1989環太平洋国際化学会議に出席 | 元. 12. 16 } 元. 12. 23 |
| | " | 教授 | 横山 泰 | アメリカ合衆国 | 1989環太平洋国際化学会議に出席及び研究連絡 | 元. 12. 17 } 元. 12. 24 |
| | 工学部 | 助手 | 山田 昌樹 | アメリカ合衆国 | 1989環太平洋国際化学会議に出席及び研究資料収集 | 元. 12. 17 } 元. 12. 23 |



職 員 消 息

《新任者住所》

学 生 部

厚生寮務係長 竹 下 義 美

教 養 部

事務長補佐 松 下 甚 清

《住所変更》

附属中学校

教 諭 澤 井 隆

人文学部・理学部

文部事務官 山 田 洋 一
(庶務係)

教育学部

助 教 授 梶 座 圭 太 郎
(地 学)

工 学 部

助 教 授 五 嶋 孝 仁
(材料力学)

事務補佐員 菊 池 ひとみ
(附属教育実践
研究指導センター)

講 師 岩 城 敏 博
(機械力学)

工 学 部

文部技官 桶 田 哲 郎

主 要 行 事

本 部

- 12月1日 第3回黒田講堂管理運営検討委員会
- 第73回構内交通対策委員会
- 2～3日 第39回北陸三県大学学生交歓芸術祭

- (於：福井大学・放送劇部門)
- 5日 第9回入学試験管理委員会・第8回入学者
選抜方法研究委員会の合同委員会
- 6日 部課長会議
- 7日 北陸地区国立大学人事担当課長会議
(於：富山医科薬科大学)

- 8日 第9回部局長懇談会
一般設備学内ヒアリング
第16回北陸地区国立学校施設担当者連絡協
議会
- 11日 営繕学内ヒアリング
- 12~13日 平成元年度厚生補導研究会（於：小川温泉
天望閣）
- 14日 会計係長会議
- 15日 第11回評議会
- 18日 第5回事務協議会
第4回黒田講堂管理運営検討委員会
平成2年度大学入試センター試験入試担当
者連絡協議会（第2回）（於：東京イイノ
ホール）
- 18~20日 黒田講堂施設見学会
- 19日 給与法等改正関係説明会
- 20日 公開講座委員会
- 21日 学務関係職員の打合せ会
- 22日 庶務係長会議
第74回構内交通対策委員会
- 27日 第12回評議会（臨時）
- 28日 仕事納め

人文学部

- 12月6日 帰国子女，社会人特別選抜入学試験
消火訓練実施
- 11日 学部教務委員会
- 13日 特別昇給委員会
教授会
人事教授会
人文科学研究科委員会
- 15日 帰国子女，社会人特別選抜合格者発表
- 16日 授業終了
- 19日 事務連絡会
- 22日 係長会議

教育学部

- 12月6日 附属幼稚園入園者（3歳児）第1次選考
- 7日 情報教育課程運営委員会
附属幼稚園入園者（4歳児）第1次選考

- 8日 附属養護学校入学者選考
- 9日 附属養護学校入学者合格発表
- 11日 附属幼稚園第2次選考（抽選）
- 13日 学部教務・補導合同委員会
学部補導委員会
- 19日 カリキュラム委員会
附属幼稚園第2学期終業式
- 20日 学部教務委員会
教授会
人事教授会
- 21日 情報教育課程運営委員会
- 22日 授業終了
附属小学校，附属中学校，附属養護学校第
2学期終業式
- 25日 事務系職員接遇研修会

経済学部

- 12月1日 学部職業補導委員会
- 3日 推薦入学，帰国子女，社会人特別選抜入学
試験
- 6日 学部教務委員会
推薦入学，帰国子女，社会人特別選抜選考
委員会
- 12日 学部将来構想検討委員会
- 13日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
- 15日 特別選抜合格者発表
- 19日 学部将来構想検討委員会
- 20日 学部教務委員会
学部入学方法検討委員会
人事教授会
教授会
- 23日 授業終了

理学部

- 12月1日 入試改善委員会
学部図書委員会
- 6日 社会人特別選抜入学試験
消火訓練実施

- 11日 学部教務委員会
 13日 教授会
 人事教授会
 15日 社会人特別選抜合格者発表
 19日 事務連絡会
 22日 係長会議
 授業終了

附属図書館

- 12月4日 係長事務打合せ会
 7～8日 平成元年度北信越地区国立大学図書館事務
 (部・課)長会議(於:金沢大学附属図書館)
 18日 第8回附属図書館商議会

工 学 部

- 12月6日 推薦入学試験
 7日 博士課程設置準備委員会
 8日 学部将来計画委員会
 12日 学部教務委員会
 13日 教授会
 工学研究科委員会
 専任教授会
 14日 機種選定委員会
 15日 推薦入学合格者発表
 18日 学部共通機器運営委員会
 20日 教官要覧編集委員会
 22日 機種選定委員会
 25日 係長連絡会

地域共同研究センター

- 12月11日 東京工業大学関係者視察
 19日 富山県工業技術センター関係者視察及び学
 官共同研究等に関する意見交換

保健管理センター

- 12月1日 内科診察, 尿検査, 血圧測定(人文学部,
 理学部, 工学部, 地域共同研究センターの
 職員, 男・女)
 6日 スキー合宿研修参加者健康診断
 健康の集い(余暇と活力)

教 養 部

- 12月1日 推薦委員会
 6日 図書委員会
 人事教授会
 教授会
 20日 教授会
 23日 授業終了
 25日 将来計画委員会

| | |
|-----|--|
| 編 集 | 富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190 |
| 印刷所 | あけぼの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話 (24) 1755代 |